

2020年11月2日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 試合の流れを変えるもの -

[YouTube：11月2日中東時事アップデート](#)

【アミール】 シャローム、みなさん、アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤより、ライブでお届けしています。今回は、中東の最新情報、とても重要で、非常に、非常に興味深いアップデートです。今、Facebookが公式にシャドウ・バン（秘かに視聴妨害）して、すべてのフォロワーを抑えつけています。FBは、私が「ライブ配信中」であるという"プッシュ通知"を送っていません。私達はそれを知っています。数字が見えています。この3週間、私達が言ってきたこと、トランプに味方して、バイデンに反対している事、そしてもちろん、パンデミックのデマにも光を当ててきましたが、我々は間違いなく、ターゲットにされています。もし、皆さんが、他のメッセージ同様にこのメッセージの拡散を望んでおられるなら、今すぐにシェアしてください。皆さんのご友人やご家族、あなたをフォローしている人たちにシェアしてください。でなければ、誰も見れなくなりますから。このアップデートは、今、公式に弾圧され、シャドウ・バンされています。私には、それが見えていますから、分かります。数字は嘘をつきません。でも、問題ありません。とにかく伝えますから。では、お祈りから始めましょう。

お父様、私はあなたがしてくださるすべてに本当に感謝します。全てを支配されている事に、感謝しています。敵は、あなたに勝つことができませんから、感謝します。敵はただ怒りを燃やし、非常に苛立っています。それは、あなたが御座におられ、終わりの時を初めから知っておられ、まだなされていないことを昔から知っておられるからです。あなたはそれを宣言し、終わりを宣言なさいます。お父様、私達は、ただあなたのみ言葉から、あなたのご計画を知りたいのです。イスラエルのガリラヤ、そして世界中から、今夜、あなたに感謝をささげ、あなたを祝福します。イエシュアの尊い御名によって。アーメン。アーメン。

改めまして、シャローム、皆さん。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤより、ライブでお届けしています。今回は、トルコとヨーロッパの間で起こっている戦争について非常に重要な、中東最新情報です。私の頭上に見えるように、イスラエルが、基本的にいかにして、この全体から利益を得ているのか。そして信じられないかも知れませんが、すべての道は、最終的には大統領執務室につながっているのです。ですから、ビホールド・イスラエルのミニストリーは、ドナルド・トランプのために、先週ずっと、祈りを捧げてきました。私達は、イエスの福音も、胎児のため、家族のため、イスラエルのために戦う事も、事実、唯一、これらの価値観を支持する政権、ドナルド・J・トランプの政権の為に戦う事も、恥じません。そして、私達は祈ってきました。今日も祈祷会があって、ここ数日は、ほぼ毎日祈祷会をしてきました。明日もやります、もちろん明後日にもやります。皆さん、世界の様々な場所から聞こえている言葉から始めます。"センセーショナル"に聞こえないように言うにはどうしたらいいでしょうね？私が嫌いなことが一つあるとすれば、それはセンセーショナリズムで、真実でもない事を、まるで超重要なことや何かに聞こえるようなスローガンを、発信している人達がありますが、しかし、私が知っている情報によれば、今、私達がこう話している間にも、世界中の3つの異なる地域が、厳戒態勢に入っています。一つは、皆さん、台湾が厳戒態勢です。彼らは、バイデンが勝てば、中国がすぐに手を回して、台湾に属する島を乗っ取り、台湾を打倒する動きをすることを、恐れていると言います。今、こうして話している間にも、イランとイラクで、最高の警戒態勢が敷かれています。イランが、ソレイマニの死に復讐しようとする動きがあるとのことです。そのために、バイデンが勝つかどうか知りたいのです。彼らはすでに、トランプが本気である事を知っています。しかしもしバイデンが勝てば、イランはまず攻撃して、それから、信念もなく、弱い大統領と取引することを決意しており、実際に、彼は、イラン協定を復活させると言っています。そして、ヨーロッパでは、今、多くの国が恐れています。ほら、リベラル派は、バイデンが勝つことを望んでいますが、しかし、彼ら

は、バイデンがホワイトハウスに入る前に、トルコが、再び、問題をどんどん現地に持ち込む事を恐れています。もちろん、個人的には、クリスチャンが明日投票すれば、ドナルド・トランプの、地滑り的な勝利になると信じています。私は見て、感じ、知っていると言ってもいいくらいです。今、私は預言者ではありませんし、これは主からの言葉ではありません。しかし、私の周りを見渡す限りでは2016年の選挙でトランプに投票して、2020年の選挙で考えを変えた人には、一人も会ったことがありません。しかし、4年前実際にヒラリーに投票し、今回は、トランプに投票するという人を、何百人と知っています。ですから、簡単な計算です。それだけではありません、皆さんにお見せしましょう。私達は、多く事が起こっているのを見ています。トランプが、本当に必要としているペンシルバニアでの、小さな逸話です。ペンシルバニア州ピッツバーグで最有力紙、「ピッツバーグ・ポスト・ガゼット」がトランプを支持しています！ここ50年、彼らは共和党の候補者を一度も支持した事はありません。これはかなり大事件ですよ、皆さん。私はまた、さまざまな方法で、非常に膨大な支持の表明を見てきました。長蛇のトランプ支持者のキャラバンとか、ご覧ください、こんな単純なことでも。この人たちは送電線作業員です。彼らをご覧ください。簡単なことですが、私を知る限り、法執行機関や、救急隊の組合で、バイデンを支持しているところは、一つもありません。しかし、米国中で、非常に多くの支持表明がなされていて、こんなにたくさんの人達が、これほど選挙に熱意を持っているのを、見たことがありません。彼らは、リスクを理解しています。彼らは、時代を理解し、その重大さを理解していて、間違いなく、それを実行しています。



が、私を知る限り、法執行機関や、救急隊の組合で、バイデンを支持しているところは、一つもありません。しかし、米国中で、非常に多くの支持表明がなされていて、こんなにたくさんの人達が、これほど選挙に熱意を持っているのを、見たことがありません。彼らは、リスクを理解しています。彼らは、時代を理解し、その重大さを理解していて、間違いなく、それを実行しています。

さて、スンニ派アラブ世界の、あるものをお見せしましょう。繰り返しますが、スンニ派アラブ世界が、最近投稿しています。これをご覧ください。「アッヤトラーは、彼らの救世主ジョー・バイデンを待っている！」これは、スンニ派アラブの投稿です。イスラム圏でも、これがどれほど重要なかを物語っています。皆さん。穏健スンニ派イスラム世界の大多数は、確実に、トランプが勝つように祈っています。なぜなら、バイデンは、シーア派の夢をすべて叶えて、イラン協定を復活させ、イランに再び力を与えますから。皆さん、米国よりもはるかに多くの方が、中東に住んでいます。ですから、私はこう言います。アメリカの選挙は、アメリカ人に影響を与えるよりも、中東の人々に影響を与えるでしょう。だからこそ、私にとっても、ミニストリーとしても、家族としても、皆さんに真実をお見せし、起こっている事を全てお伝えすることがとても重要なのです。皆さん、アラブ世界、スンニ派の穏健派アラブ界は、ドナルド・トランプの就任を望んでいます。世界中のリベラルは、彼が民主主義にとって最大の危険人物だと思っています。でも実際は、封鎖やマスクを押し進めて、民主主義を抑圧しているのは、リベラル派です。私達はそれを事実として知っています。ここイスラエルでもそうです。



それでは、中東のアップデートから始めましょう。現在、たくさんの事が起こっています。まずは、これから始めましょう。数日前、トルコのこの地域で、マグニチュード6.5の強い地震がありました。ご覧ください。トルコ南西部のエーゲ海に隣接するイズミル市です。もちろん、ギリシャの

島々にも影響を与えました。トルコでは、倒壊した建物から数人の死傷者が出たことが分かっています。実際、はっきりと見えます。そのうちの一つは…ご覧ください。それはビルで、地震で粉々になってしまいました。(ビデオ再生)ビルが、あっという間です。感謝なことに、60時間以上経って、瓦礫の中から小さな女の子エリフが救出されました。そして彼女は、今や、トルコ全土で大スターとなっています。エリフは、私の知る限りでは3歳、生き埋めになって60時間後に、瓦礫の中から救



出されました。複数の死傷者が出て、数百人が負傷し、イスラエルは即座にトルコに救助を申し出ました。私達は装備が充実していて、専門家です。私達は、以前地震があった時にトルコを助けました。私達は実際にチームを派遣し、そこで人々を救助するのを手伝いました。今回、トルコは「ノー」と言いました。彼らは私達の助けを拒みました。興味深いと思いませんか？それが今の、この地域の緊張感を物語っています。

さて、皆さん、本題に入りましょう。私の後ろに見えるものです。皆さん、思い出してください。少し前に、フランスのパリ郊外で、歴史の教師が斬首されました。何のために？「言論の自由」を教えたためです。彼は、シャルリ・エブド紙に掲載されたムハンマドの風刺画を見せて、言いました。「ほら、実際、これに賛成する事も、反対する事も出来る。ここは、言論の自由がある自由な国で、言論の自由があるところでは、こういったものでも、掲載出来るんだ。」翌日、18歳のチェチェン人イスラム教徒が、彼を刺殺しただけでなく、頭部を切り離し、斬首し、さらには、その様子を、ビデオに撮影しました。その後間もなく別のチェチェンの若者がフランス、ニースにある聖母ノートルダム教会に押し入りました。彼は中に入り、3人を虐殺し、そのうち1人は男性、2人は女性で、女性たちを両方とも斬首しました。彼は、ナタを持って出て来たところを、フランス警察に撃たれましたが、彼は死んでいません。最初の事件とは異なり、彼はまだ生きていて、彼は逮捕されました。マクロンが出てきて、言いました。「我々は、言論の自由の権利を守っている。」そもそも彼は、シャルリ・エブドに言論の自由として漫画を掲載することを許可して、その後も擁護しています。それから皆さん、マクロンは、それをやっただけでなく、先月の初めには、フランスに、新しいイスラム教を導入する計画まで始めました。マクロンはそれを「フランスのイスラム教」と名付けました。彼は、基本的にこう言いました。「イスラム教に、私は、"啓蒙されたイスラム教"を紹介しよう。外国人にしがみついたり、頼ったりしないイスラム教でなく、フランス製のイスラム教で、イマーム(聖職者)はフランス人そのイマームは、フランス当局が監督する。」そして彼は、さらに火に油を注ぐようなことを言いました。彼は述べました。「世界のイスラム教は危機的状況にある」彼がそう言ったのです。言い換えれば、イスラム世界に危機がある、と。ここに住みたいなら、新しいタイプのイスラム教を提供しますよ、と。フランスには、約1千万人のイスラム教徒がいます。1千万人です！そして彼は、彼らに言っているのです…基本的に「私は、あなた方に啓蒙されたものを紹介しよう。」彼は基本的に、フランスの1千万人のイスラム教徒に言っているのです。「あなた方のイスラム教は、闇深く、邪悪だ。」彼は、基本的に言っています。「イスラム教という宗教は、修正が必要だ。」マクロンが、彼らにそう言ったのです。まさにその為、エルドアンはこう言ったのです。「マクロンは、精神的な治療が必要だ。マクロンは正気を失った。」

では、ここからトルコに移りましょう。皆さん、理解しなければなりません。エルドアンには、大きな計画があります。新しいイスラム教を導入する必要があるというマクロンの言葉と、再び、帝国にならなければならないと言った、エルドアンの言葉を見てください。そして、昨日のエルドアンの演説をご覧ください。



私のマイクはミュートにして、そして、昨日の、エルドアンの演説をご覧ください。(ビデオ再生。トルコ語の演説)昨日、彼が言っていた事を正確に知ると、皆さん、かなり驚かされますよ。実際に、彼が言っていたことを、いくつか訳してみました。こんなことを言っています。

「我々はシリアに居り、リビアに居り、アゼルバイジャンに居る。どのような紛争も、我が国にとって、大飛躍だが、その代償を負うことも、明らかである。

クーデター未遂や、国境を越えた作戦など、テロと戦うために人命を失っている。しかし、…」これをご覧ください。「しかし、思い出せ。すべての土地、我々の少年達や兵士の血が流される全ての場所は、我々の土地、そう、我々の故郷、我々の家だ。」エルドアンは、基本的に、全世界にこう言っています。

「どこであろうと我々が出て行き、誰かの戦いを援助する場所は、シリアであろうと、イラク北部であろうと、リビアであろうと、アゼルバイジャンであろうと、それは、そこが我々の土地だからだ。そこは、我々の領土であり、我々の故郷だ。」それで、エルドアンは、何を言おうとしているのか？彼は、こう言いたいのです。「おい。私の計画は拡大することだ。私の計画は、ただ誰かを助け、そして彼らを連れ出すのではなく、私は、彼らが留まるのを手伝っている。私は、彼らが、ここに留まれるよう手伝っているのだ。私は、ここに留まる。私は、1923年以前の我々になる！第一次世界大戦後、トルコのこんにちの国境を設定した、ローザンヌ会議前の状態に！」皆さん、エルドアンが昨日言った事は、誰もが知っている事でした。し



エルドアンは、両者の戦いで、アルメニアを攻撃していて彼は後ろに隠れて、彼らを叩いています。

しかし、誰もが憶測でしかありませんでした。それが、今回初めて、彼は基本的にこう言ったのです。「アゼルバイジャンは我々の土地、リビアは我々の土地、シリアは我々の土地、我々の行く所はどこでも、我々の土地だ」驚愕です。実際、コーカサスの”ナゴルノ・カラバフ紛争”でさえ、国民は、どのように描いているのかお見せしましょう。エルドアンは、両者の戦いで、アルメニアを攻撃していて、隠れて後ろから、彼らを叩いてい

ます。これで足りなければ、ご覧ください。エルドアンが、マクロンに敵対するよう、世界中の人々を煽っています。マクロンは今、文字通り、世界中のイスラム教徒の街で憎まれています。お見せしましょう。イスラム世界全体が、激怒しています。A) ムハンマドの風刺画のせい、B) マクロンが、フランスには、新しい種類のイスラム教が必要だと考えている為です。実際、ご覧ください。これは、パキスタンの街中です。ご覧の通り、彼らは、マクロンの写真を燃やしています。もう一枚、この風刺画です。さあ、これをご覧ください。皆さん。エルドアンは、このように袋の中に入れてい



イスラム世界全体が、激怒しています。



実際、ご覧ください。これは、パキスタンの街中です。



エルドアンは、このように袋の中に入れてい、これは泥棒が使う袋で知られる「Diyantet」。

「Diyantet」。「Diyantet」は、トルコ拡大の為のネットワークの名前ですが確

か、フランス語では、泥棒の袋です。彼がやっていることを、ご覧ください。彼は文字通り、イスタンブールの博物館だった教会、アヤ・ソフィアを奪い、モスクに変えました。彼は文字通り、それを奪ったのです。しかし、ハギヤ・ソフィア（アヤ・ソフィア）だけだと思いませんか？いいえ、また別のビザンチン教会は、ここ60年~70年は博物館でしたが、数日前、これもまた、モスクになりました。ご覧ください。コッレール博物館です。左側を見てください。左側は、実際の教会の姿です。美しいですね。エルドアンが、モスクに変えているのは右側です。彼は、全ての美術品を覆って、モスクに戻しています。オスマン帝国がそこを占領した時、そこをモスクしましたが、しかし、その後、トルコ革命があり、アタチュルクが来て、博物館に戻し、だから、スルタンになりたいエルドアンは、この教会を、もう一度モスクに変えたのです。そして、それが私達



コッレール博物館です。

が見ているものです。



そして、立ち向かっている相手を見てください。斧とナタを持って、コーランを手になっている、狂った野蛮人です。

それでも足りなければ、皆さん、理解する必要があります。マクロンは今、ある目的があって、マクロンは、フランス民主主義における「言論の自由」の擁護者として地位を確立していると思います。実際、彼らがマクロンをどのように描写したか、ご覧ください。まるで、彼が、フランスやヨーロッパを守っているようで、そして、立ち向かっている相手を見てください。斧とナタを持って、コーランを手になっている、狂った野蛮人です。現在、フランスの漫画家がマク

ロンを、このように描いているのです。間違っ

した。イスラムは、支配権を握るためにリベラルを利用し、握った後真っ先に排除したい存在はリベラルです。間違っただけではありません。そして、ヨーロッパは"目覚めた感覚"があり、フランスがつい先ほど言いました。「今、トルコが敵だということが分かった。我々は、見ての通りあちらでの"トルコとの戦い"に協力する国々と直ちに同盟を結ばなければならない。」そして、なんと、ここで、イスラエルが登場します。シャルル・ド・ゴールが、イスラエル支持から手を引いて、アラブ世界に味方するようになって以来、長年フランスは、常にイスラエルに敵対していたのです。何のために？石油、ガス、ビジネスのためです。それがなんと！今、起きています。イスラム世界の反フランス、反マクロン感情から、トルコはフランス製品ボイコットを主導しています。実際、ヨルダンで、棚からフランス製品を撤去したお店があるのです。興味深いことに、ヨルダンだけでなく、他の国でも同じことをしているのを見ています。もちろんトルコは、フランス製品も、フランスの軍用装備もフランスの農産物も、すべて禁止しました。これは、ウィルスや、ロックダウンや規制のせいで、すでに苦しんでいるフランス経済にとっては、大打撃です。そして、どうなったと思いますか？フランスは今、イスラエルと取引をしようとしています。イスラエルは現在、この地域で最強の諜報機関、最強の海軍で知られています。私達は、素晴らしい潜水艦、艦隊群を保有しています。それから…ほら、私の娘は海軍にいますから、隻数だけでなく、艦艇の質や人員の質も踏まえて、この地域で、トップクラスの海軍だと言えます。フランスは、それを理解しており、ギリシャも、それを理解しています。キプロスも、イタリアも理解しています。伝統的にパレスチナ人の味方をしてきた、全ての国が理解しています。それらの国々は、今、ビジネス、同盟関係、保護を求めてイスラエルに駆け込んでいます。とても面白いのです。かつて、アラブ世界は、パレスチナ人やトルコ人、ヨーロッパ人と一緒になって、イスラエルに敵対していました。それが今や、アラブ世界は、パレスチナ人を捨て、ヨーロッパを捨て、イスラエルに駆け寄り、味方をしているのです。そして、パレスチナ人は何をしているか？彼らは、トルコに駆け込んでいます。今やトルコは、パレスチナ人の後援者で、ガザで毎月人々にお金を渡しているのは、トルコのATMであるカタールです。ですからトランプ大統領が"イラン協議"から手を引いて以来、イランの化けの皮が剥がれたことが分かります。そこへ「世紀のディール」が登場し、パレスチナ人に国家を提供しました。もし、"もし"です、彼らが、エルサレムを、イスラエルの首都として受け入れ、西岸にあるイスラエル人の全家庭においてイスラエルが主権を持つ、という事実を受け入れ、パレスチナ人は、世界中のどこからでも、一切イスラエルに出来ない事を受け入れ、テロへの資金提供の停止、ガザ地区のハマスの非武装化など、この全てを受け入れる事が条件です。もちろん、その要求の一つ一つがパレスチナ人には、できないことです。そして今や、アラブ世界が言っているのです。「まあ、パレスチナ人には、チャンスがある。イランは、威嚇していて、トルコも、威嚇している。イスラエルは、この地域全体で我々を助け、信頼できる唯一の国です。」ヨーロッパも今、同じことを理解するようになりました。そして今、それが、どのようにゲームの流れを変えるのかが分かります。これは、100年に一度のことで、私達は、まさにこの目で見ています。これは、本当に興味深いのです。

では次にトランプが交わした協議の一部に移ります。確か、イスラエルとUAEの間だったと思いますが、UAEが、アメリカからF-35を購入することを、許可します。さて、中東の国でF-35を持っていたのはイスラエルだけでした。それはもちろん、イスラエルが中東で持つべき微妙な優位性を崩すこととなります。そのため、トランプ政権は、非常に前代未聞の動きでイスラエルが、アメリカからステルス全天候型ジェット戦闘機「F-22ラプター」を購入する事を許可しました。さて、なぜこんな話をするかという、世界のどこ



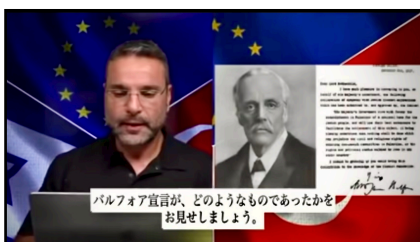
の国も、F-22を持っていません。これは新しい飛行機ではなく、少なくとも12年～14年経っています。しかしオバマは、それを止めたかったので、しかし、一つだけ言えることは、これは、アメリカ史上…世界史上だと思えます、圧倒的に最高の戦闘機です。そしてアメリカは、どこの国にも、その戦闘機を売っていません。イスラエルは、この中から2機獲得し、この地域での、我々の優位性を保ちます。またもう一つ言えるのは、UAEがF-35を持つことは、実はすごい事なのです。なぜか？彼らは、パイロット養成に助けが必要で、私達は、それを提供することができます。また、F-35がアラブ首長国連邦からイランに飛ぶ方が、イスラエルからイランに飛ぶより、はるかに短距離です。ですから、実際には、彼らのF-35のように見せながら、常に、我々の身内に仕事をさせる事が出来るのです。つまりこれは、我々にとって非常に大きな利点なのです。まずF-22を

持つこと、しかしまた、彼らがF-35を持つこともそうです。確実に、敵を混乱させますから。

さて、これからお話しする事は、恐らく皆さんがご存じない事です。バイデン陣営は、"イラン合意"に戻るとイランに約束し、パレスチナ人には「トランプがやったことは、すべて元に戻す」と約束しました。言い換えれば、彼らはすべてを元に戻します。彼らはパレスチナ人のためだけに、東エルサレムに総領事館を再び開設します。彼らは、ゴラン高原、ヨルダン川西岸のユダヤ人入植地の合法性、および、それらすべてに関する決定の、いくつかを取り消すでしょう。シーア派のみならず、パレスチナ人も、アッラーにバイデン勝利を懇願しています。そして、一つ言えることは…説明させてください。私は恐れていません、恐れたことはありませんし、アメリカで、他の誰かが勝利する事を、今も恐れていません。王を廃し、王を立てるのは、神であることを私は知っています。私達は、私達の役割を果たさなければなりません。だからこそ周りを見渡して、この大きな熱狂がトランプの地滑りの勝利につながると信じています。しかし、仮に、あるう事か、トランプが勝利せず、バイデンが大統領執務室とホワイトハウスに入り、物事を狂わせるなら… 皆さん、聞いてください。私達は、人間の指導者に希望を託しすぎるあまり、私達の多くが見落としがちですが、神の分野というもの、常にあります。とても面白いもの、お見せしたいと思います。今日、本日、バルフォア宣言から、103周年を迎えました。バルフォア宣言とは、当時大英帝国だった英国が、ユダヤ人が当時"パレスチナ"と呼ばれていた場所に祖国を必要としていることを、認めた宣言です。つまりイスラエルは、ユダヤ人の祖国、ユダヤ民族の祖国なのです。パレスチナ人は、それをどのように記念したか、見てください。103、彼らは、いたるところに血を見せています。彼らにとって、それは災難です。彼らは、実際に、バルフォア宣言を下に表示しています。バルフォア宣言が、どのようなものであったかをお見せしましょう。手紙の内容は「私は、非常に嬉しく思います。」…彼は、103年前の今日、11月2日に、ロスチャイルド卿に手紙をしたためていました。「私は、英国政府に代わり、以下のユダヤ人のシオニスト運動に共感する宣言が内閣に提案され、そして承認されたことを、喜びをもって貴殿に伝えます。「英国政府は、ユダヤ人がパレスチナの地に国民的郷土を樹立することにつき、好意をもって見ることにし…」これは、ホロコーストの前です。これは、あの多くの残虐行為が行われる前のことです。そして彼は言います。「その目的の達成のために最大限の努力を払うものとする。ただし、これは、パレスチナに在住する非ユダヤ人の市民権、宗教的権利、及び他の諸国に住むユダヤ人が享受している諸権利と政治的地位を、害するものではないことが明白に了解されるものとする。貴殿によって、この宣言をシオニスト連盟にお伝えいただければ、有り難く思います。」これは、非常にすごい事です。なぜ、これがすごいのか？これをお見せしましょう。このバルフォア宣言は、後に承認され、第一次世界大戦後のサンレモ会議によって法定文書となりました。第一次世界大戦は、1918年に終わり、もちろん1920年4月



103、彼らは、いたるところに血を見せています。



バルフォア宣言が、どのようなものであったかをお見せしましょう。



イタリアのサンレモという、小さな小さな町でサンレモ会議が開催され、

19日～26日の間に、イタリアのサンレモという、小さな小さな町でサンレモ会議が開催され、そこで、英国、フランス、イタリアの首相、日本の大使が一堂に会して、バルフォア宣言は、イギリスが実行しなければならないと決定し、各国を縛る法的な書類となったのです。これは、国際連合が出来る前の、国際連盟協定です。そして、国際連盟は、皆さん、1922年に委任統治領パレスチナの決議案を発表、皆さん、委任統治領パレスチナの決議案が発表されました。そして、その決議案の中には、このようにありました。「委任状文書は、イギリスは委任統治領を2つの地域に分けた。ユダヤ人の民族郷土を含む、イギリスの直轄支配を受けるヨルダン川より西のパレスチナ…」パレスチナ！現在のイスラエルです。イギリスの直轄支配を受ける、ユダヤ人の民族郷土！そして、トランスヨルダンは、現在のヨルダンです。「…ハシミテ家が治める、ヨルダン川東部の自治領トランスヨルダンである。」間違っははいけませんよ。皆さん。当時のユダヤ人とアラブ人、もちろん、国外のアラブ人ですが、素晴らしい関係を持っていました。当時のイス



皆さん、委任統治領パレスチナの決議案が発表されました。

ラム世界の指導者であるシャリフ・フセインは、息子のファイサルを送って、平和条約に署名させました。誰と？ユダヤ人と。私は今、ユダヤ人とアラブ人の間で調印された和平条約をお見せします。和平条約には、次のように書かれています。「イスラエル（ここではパレスチナ）は、実際にはユダヤ人のものである。」それは、彼らの祖国です。私達は、ユダヤ人が来て引き継ぐことを奨励します。しかし、祖国に帰ってきたユダヤ人の皆さんは、ヨルダン川の対岸にいるアラブ人である、私達の祖国建設に協力してくださいませよう、お願いします。」私が言っていることが、分かりますか？



当時、メッカとメディナとハッジを支配していたアラブ人、当時のメッカのシャリフだった、フセインが、言っているのです。彼らは言いました。「我々は、イスラエルが、ユダヤ人のものであることを認める。実は、アラブの国を建国するために、ユダヤ人に協力して欲しい。」皆さんに、お伝えしたいことがあります。バルフォア宣言で、何が起こったのか、ご存じですか？後に、イギリスは心変わりし、反対運動を始め、実際に、ユダヤ人の、イスラエルへの移民を禁止しました。しかし、神は...しかし、神はそれを用いて、神にしか出来ない事を、されたのです。これをご覧ください。アラブ人は、当時の英国人の約束は信頼できないことを、知っていました。では、アラブ人は、何を付け加えたと思いますか？アラブ側のサインの上に、アラビア語で記入されているのを見えますか？彼らが、何と言ったか分かりますか？実際、次のように言いました。「ファイサルは、受け入れの条件として、オスマン帝国の大部分で独立を望んでいたアラブ人への、英国の戦時中の約束の履行をあげた。」彼はタイプされた文書に、手書きの声明文を添付しました。「1919年1月4日付けの英国政府外務省への私の覚書で要求したこの条件で、アラブ人が独立を得たならば、私は、上記の条項に同意するものとする。」しかし、少しでも変更や逸脱があった場合、私は本契約の一言に拘束されることはなく、それは無効と見なされ、説明も有効性もない。また、私は、いかなる方法でも回答できない。」アラブ人は、基本的にこう言ったのです。「我々は、イスラエルがユダヤ人のものであることに同意し、平和を望んでいる。しかし、英国がシリア、エジプト、イラク、ヨルダンをアラブ国家にする、という約束を果たさなければ、私達は平和を手に入れることはできない。」ところが、もちろん、英国は、アラブ人との約束を、果たしませんでした。そしてもちろん、結論として、最終的にアラブ世界は、この合意から外れました。そしてトランプ大統領が出て来るまで、イスラエルとアラブ世界の間、平和はありませんでした。今は、平和があります。サウジアラビアとは、暗黙の平和です。それが原動力ですから。しかしアラブ首長国連邦、バーレーン、スーダンとは平和があります。そして選挙後には、少なくとも5~6カ国以上になるでしょう。モロッコも間もなく参加し、オマーンも参加し、ますます多くの国が、参加することになるでしょう。皆さん。しかし、要点はこうです。神は、何があっても、神のご計画を実行されます。そして私が思うにその時、恐らくイスラエルとアラブの間で平和はないでしょう。私がそれを言っている理由は「異邦人の時代が終わると、戻って来る。」とイエスが言われたからです。実際、パウロでさえ、ローマ人への手紙11章に次のように書いています。

「兄弟たち、私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい…その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになつたのは異邦人の完成のなる時までであり、」（25節）

その後、イエスが戻ってこられると、イスラエルはみな救われます。私の言いたいことは、こうです。今まだ、異邦人の時代です。間違っただけではありません。2000年前イエスは、すでにこの地域と、それからエルサレムには、本当の意味での永続的な平和がないことを、ご存知でした。はい、私達はエルサレムを支配していますが、今、神殿の丘を支配しているのは、誰だと思いませんか？イスラエルは今、神殿の丘で、一度も公開の祈りを捧げることはできないのです。ユダヤ人は、誰一人として、あそこで許されていません。そこには、ユダヤ人の神殿はありません。そして現在神殿の丘の支配権は、イスラム教徒の"ワクフ"、アラブ人イスラム教徒の手に委ねられています。ユダヤ人が、自分たちの神殿を建てるために、ある程度の支配権を与えられるかも知れませんが、それは反キリストの支援の下で結ばれる、偽の和平協定によるものです。そして3年半後、神殿が建てられたら、第二テサロニケ2章が告げる通り、彼は入って行き、自分が「カミ」であると宣言します。ですから、それすらも、本当の平和ではありません。ところが、エルサレムの異邦人の時代は、いつ終わるのでしょうか？イエスが、戻って来られるときです。イエスが戻って来られるとき、

地震があり、神殿の丘は崩壊します。第三神殿であろうと、モスクもそこに立っているかも知れませんが、何であれ、その上に立っているものは、すべて崩壊します。そして、エゼキエル書の後半でエゼキエルが預言した、第四神殿があり、イエスは、エルサレムのその神殿から統治されます。それは、素晴らしい事になるでしょう。唯一、その時、異邦人がエルサレムを踏みじめる時代の終わりです。特に今、神殿の丘に関しては。皆さん、これは明確でなければなりません。アブラハム合意は、イスラエルに神殿を建てる権利を与えていません。実際、それは、イスラム教徒にそこに行き祈る権利を与えているのです。どこを読んでも、分かります。なぜ、それをアブラハム合意と呼ぶのか？なぜなら、今は、世界中のアブラハムの子孫がアル・アクサ・モスクに来て、祈ることができるからです。ですから、どちらかといえば、アブラハム合意は、ユダヤ人に、神殿を建てるためのアクセスと権威を与えるという反キリストの計画に、反しています。しかし、それはまた、私達が知っている将来起こることに、影響を及ぼします。今はまだ異邦人の時代で、そして、イエスが戻って来られて、オリーブ山の上に立たれる時、それは終わります。ですから、明確にしておく必要があります。例えばトランプ大統領が何かを約束した後、バイデンが来て…私達に何かを約束し、アラブ人に何かを約束し、そして、彼の言葉を撤回して、それに反して動き始めたとすれば、最終的には、神のご計画と神のみことばが成就します。私達は、それを知っています。ユダヤ人は、自分たちの故国に戻らなければなりません。私達は、それを知っています。ユダヤ人は、自国を設立しなければならなかったのです。そして、私達は知っています。神殿の丘は、諸外国、異邦人の支配下になければなりません。そういうことなのです。ちなみに、私の上の旗は、欧州連合、EUです。これはトルコ、そしてもちろん、これはイスラエルです。私が皆さんにお伝えしたいのは、皆さん、私達が見るすべては、神のご計画の一部であるということです。それから、皆さん、言っておきます。たとえ、最悪の事態が起こって、間違った人がホワイトハウスに入り、彼がすべてを変えて、逆転させたとしても、彼には、神がすでに決定されたことは、一切、逆転させることができません。定められた時があり、定められた出来事があるのです。神は、私達とは違い、未来をご存じです。私は預言者（プロフェット）ではありません。私は「NPO（ノン・プロフィット・オーガニゼーション：非営利活動法人）」の人間です。そして、一つ言えることは、他の人とは違って、私には、明日何が起こるか、言えません。なぜなら、神が私にそう仰ったのです。私は、常識と、そして私が周りで見ているものから言えます。しかし、まかり間違っても、バイデンが勝つとしても、私は、椅子から転げ落ちて、神のご計画と、神のみことばの預言的な側面が大きな打撃を受けている！なんて思いません。違います！ほら、トランプ大統領が、今、あと4年間在任する唯一の前向きなこととは、何の為ですか？新世界秩序の噴火が起こる前に、より多くの人々が福音を聞くのに十分な時間を持ち、救われるためです。ほら、現実を見てください。アメリカ崩壊の2つの選択肢は、常に軍事的、または財政的な崩壊か、もしくは教会の携挙です。私はトランプが勝ち、そして、携挙によってアメリカが崩壊すると信じたいです。しかし繰り返しますが、何か別のことが起こったとしても、神が完全に支配しておられるのです。私達は正しいことがなされるように祈り、神がされる事を受け入れるべきです。しかし、一つ言えることは、神は未来をご存じです。そして全体像では、世界の出来事は最終的には、マタイ24章、ルカ21章、そしてもちろん第二テサロニケ、ダニエル書9章で描写されています。聖書は、全て起こることを、すでに予告しており、私は、明日のトランプの勝利を望むのと同じくらい私は、それが起こることを願って、祈っています。そして私は、皆さんが投票して、ご自分の役割を果たすように促します。皆さんの祈りは、こうあるべきです。「みこころがなりますように」それから、聞いてください。私は、すべてを受け入れます。そして一つ言えることは、別の人間が、ホワイトハウスに足を踏み入れたとしても、その事で、預言が一つとして、苦しむことはありません。敵にだまされてはいけません。そして、一つ言えることは…私は、主が福音のために、胎児のために、トランプの時間が延長されることを、祈ります。私は願って祈っています。私は、それを隠しもしません。合衆国最高裁が、1973年以来、残酷に殺された5000万人以上の胎児のホロコーストを許した、最も恐ろしい決定の一つを、覆すよう祈り願います。多くの場所で、義が回復されることを祈り願います。その結果として、イスラエルがより多くの平和と繁栄を享受することを願って、祈っています。しかし、私はまた、最終的にエゼキエル38章が来ることも分かっています。そして私はまた、最終的に反キリストがヨーロッパから登場することも分かっています。そして私はまた、最終的に大患難が、平和条約から始まり、それが7年間続くことを知っています。これらは、実際、変更する事はありません。ですから私達は平和を祈り、義を祈り、胎児のために祈り、家族のために祈り、聖書的価値を祈り、教会のために祈り、キリスト教のために祈り、イスラエルのために祈ります。私達はそれを行い、それに応じて投票しま

す。残りは、神が行われます。皆さんに言えることは、それだけです。私達は、それを覚えておく必要があります。ほら、世界からたくさん例を上げる事ができます…これまでの地球の歴史上、聖書の預言の流れを変えた世界的リーダーは存在しません。誰も。実際、自分のやりたい放題しようとしたリーダー達はいましたが、彼らは、理解すらしていません。神は、笑っておられるのです。詩篇2篇を読んでください。神は、彼らを笑っておられます。なぜなら、彼らが、神と、神のひとり子と、油そそがれた者、メシアに逆らって試みたすべてのことは、最終的に彼らの頭上に降りかかりますから。彼らは、自分達は賢いと考えますが、彼らは愚かで、時に神は、彼らが好き放題するのを許されます。明日、私が霊で感じている通り、ドナルド・トランプの地滑りの勝利となることを、祈ります。しかしまた、バイデン陣営が言っているのを聞きました。「何がなんでも、明日の夜、(敵の)勝利は受け入れない。」言い換えれば、トランプの選挙人が320人で、バイデンの方が200人未満であっても、彼らはトランプの勝利を受け入れません。つまり、最初から彼らは、国民が選んだ結果を受け入れる気はないのです。面白いですよ。見てください。今、自分の店や銀行、カフェ、全てを板張り補強しているのは誰ですか？リベラルな都市だけです。興味深い事に、トランプの集会は全米で行われていたのに、略奪された店は、1つもなかったのです。誰も。それが、今、全てを板張り補強しているのは？リベラルな州と、リベラルな都市です。どうして？それは、誰が暴動を起こすのか、また、その理由も、彼らが正確に知っているからです。トランプが勝ち、そして、アンティファ、BLM、そしてギャング全員が暴れます。そういう事です。それはすでに、決定しています。私達は、彼らの計画を知っています。彼らの地図、彼らの動機、全てを知っています。すべてが露呈されています。明日は、皆、投票に行かなければなりません。そして、明日以降は、基本的に「巻き添え被害」が起こると私は思っています。それは避けられません。それは避けられません。なぜなら、今、彼らがそのように振る舞うならば、彼らが、さらに4年失ったのを見たときには、なおさらです。しばらくは厳しいでしょうが、しかし、その後、政府は確実に抑えていくと信じています。しかし、バイデンが勝った場合、文字通りアメリカの終わりだと私は思います。そしてもちろん、アメリカが崩壊するために携挙を待つ必要はありません。すぐそこまで来ています。皆さんが投票されることを、お祈りしています。皆さんが、聖書的に投票されるように、お祈りします。皆さんが、リスクを理解される事を祈ります。そして、明日、投票できる人は、投票されるよう祈ります。なぜなら、神は、私達に勝利を約束してくださったかも知れません。聖書の中で、神は、イスラエルに勝利を約束されましたが、神は、イスラエルの民に「戦いに行くな」とは言われませんでした。あなたの剣を取り、あなたの武器を取り、戦いに行きなさい。戦いに行きなさい。そうすれば、わたしがあなたに代わって戦う。戦いに行きなさい、そうすれば、わたしは、あなたに勝利を与える。あなたは、自分の役割を果たしましょう。神は、神の役割を果たしてください。とてもシンプルです。アメリカには、世界に提供できるものがたくさんあると思います。アメリカは、まだ素晴らしいことを重んじていると思います。キリスト教、胎児の権利、自由と、イスラエルが、今のアメリカの選挙の歴史の中で、かつてないほど争点になっていると、信じています。ですから、皆さん、正しいことをしてください。今私が話している内容の為に彼らが、このメッセージを隠してしまう事は、分かっています。ちなみに、ヨーロッパは、ロックダウンされます。英国、フランス、ドイツ、ベルギー、チェコ共和国、イタリアなど、さらに多くの国々が、全般的なロックダウンに向かっています。さらに混乱が起こるでしょう。ヨーロッパ人が「もうたくさんだ！」と言っていますから。「これは、言われているほど致命的ではない事は分かっている！これは、最初に聞かされていたものとは違うことを知っている。だから今、あなた方に従うつもりはない！」ヨーロッパでも、非常に荒れるでしょう。しかし、一つ言えることは、選挙の後、突然、COVIDはアメリカの最大の問題ではなくなります。今、彼らは皆さんに恐ろしい数字を見せていますが、彼らは、ただ忘れていきます。アメリカは、地球上のどの国よりも多く検査をしているのです。その為に数字が大きいのです。しかし、大多数は若い人達で、実際には、それで死亡したり、深刻な影響を受けている人は、ほとんどいません。皆さん、私がアメリカに行って、教会で集會が持て、感染が拡大していない事を、自分の目で見ていなければ…見てください。ロサンゼルスタイムズは、ジョン・マッカーサーの教会で感染が拡大したと報告しました。何人がCOVIDに感染したか、ご存じですか？3人です。「大流行！」7000人の教会で、感染者が3人。それが「大流行！」です。ほら、彼らはいつも、私達を怖がらせようとしています。それが手口です。ロックダウン！ほら、私の情報から、バイデンが勝った場合、彼は、数ヶ月間の全国的なロックダウンを、計画しています。これは、アメリカを崩壊させます。1月に予定されている、大規模な"リセット"の話はしませんが、基本的に、世界を支配している者達が、世界中の全ての人から所有権を奪い取るようとしています。「あなた

には、所有もなければ、借りもない。」それが彼らが望んでいることです。もちろん、2021年のリセットについては、またアップデートを行います。それについて、全てを説明します。ただ、それは、すでに2016年から計画されています。間違いありません。このパンデミック全体が、ずっと計画されて来たのです。それについて、間違いありません。バイデンは、2019年、すでにパンデミックについて「アメリカは準備が出来ていない」とツイートしていたのです。まだ、誰もそれについて語っていない時、誰もそれに気づいていない時、2019年10月に、彼はそう言ったのです。良いですか？ 何人かの人を常に騙すことも、全ての人を時々騙すことも出来るでしょう。しかし、全ての人を常に騙すことは出来ません。それは、うまくいきません。私達は、それを目撃しています。これは事実です。

さて、皆さん、ご清聴ありがとうございました。イスラエルは、現在、アラブ人とトルコの間、ヨーロッパとトルコの間、戦争から、あらゆる利益を享受しています。そしてお伝えしたいことは、これは、エゼキエル38章戦争の前に起こる事の一部です。イスラエルは、どんどん、求められるようになってきています。一方ではアラブ人、他方ではヨーロッパ人…ほら、以前は、我々は、ヨーロッパ人の助けや支援が必要でした。しかし、もう、必要ありません。今や、ヨーロッパが、トルコに対抗するために我々を必要としています。実際、今、我々は、アラブ世界が、イスラエルと取引しに来る事に関して問題ありません。言うておきますが、世界のイスラム界が、フランスをボイコットしている間、UAEはイスラエルのワインを買っています。イスラエルのワインです！実際、UAEとイスラエルの間の、過去数週間の商取引は、数兆ドルにのびます。ヨーロッパがボイコットされている間、私達は今アラブ世界と、素晴らしいビジネスをしています。トルコは、アラブ人とフランスによってボイコットされています。フランスと、他のいくつかのヨーロッパ諸国は、アラブ人とトルコによってボイコットされています。そして、そのすべてから、大勝利者は、もちろんイスラエルです。だからトランプ大統領が、ヨーロッパ人に言ったのです。「ロシアからガスを入手するな。私がイスラエルのガスを手配する。あなた方が、ここで見ている、イスラエルから、キプロス、ギリシャ、イタリアへの近東ガス・パイプラインで、イスラエルのガスを、より安価に、より早く手配する。」驚愕です。トランプにもう一度、大統領になってもらいたいです。皆さんも、彼が大統領になるよう望んでいる事を願います。このメッセージを、できるだけ多くの人とシェアしてください。Facebookは、私達をシャドウ・バンしています。皆さん、ありがとうございました。皆さんのために、お祈りしたいと思います。

お父様、あなたのみことばに感謝します。そして、明日、あなたの御心がなされることに感謝します。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。 (民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。 (民数記6:24~26 英語)

平和の君であるイエシュアの御名によって、すべての理解を超えた平安がもたらされることをお祈りします。アーメン。

私は明後日、2週間のミニストリーで、ブラジルに飛びます。私とマイク・ゴレイ牧師のために、お祈りをよろしくお願いします。ブラジルには、コロナがいっぱいと、脅す人がいますが、それは、アメリカに行かない方が良いと言われたのと、同じ脅しです。私は行きましたが、それはそれは素晴らしい祝福でした。私達は行きます。主が、すべての悪から私達を守ってください。もちろん、いつも、いつでも、皆さんのお祈りに感謝しています。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.11.12 (Thu)